

## 今日のトピック 中国株式市場の動向について 景気刺激策と国有企業改革に期待し上昇

### ポイント1 一連の景気刺激策が安心材料に

4-6月期の成長回復を好感

■H株指数(香港上場の中国企業の株価を示す)は7月末までに、3月につけた今年の安値から、20%超、上昇しました。上海総合指数も、4月の安値から約10%上昇しました。

■中国政府は4月以降、景気支援策を次々と発表し、景気回復期待が高まりました。実際に4-6月期のGDP成長率は前期から上昇し、足元の生産、固定資産投資、銀行貸出なども持ち直しました。

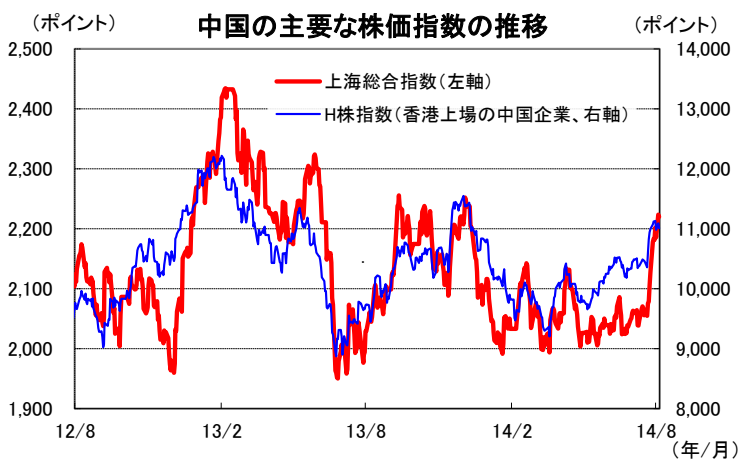
### ポイント2 国有企業改革の進展期待も株価上昇要因

市場原理導入で経営は効率化へ

■もう一つの株高要因として、国有企業改革への期待が挙げられます。国有石油大手・シノペックが小売部門に30%までの民間資本を受け入れた(※)ことなど、近年は足踏みしていた「民営化」が進む期待が高まっています。

■金融部門やエネルギー部門をはじめとした大型国有企業は、優良な資産や顧客基盤などを有しています。市場原理の導入により、企業の経営資源の効率的な利用が進むと思われます。

■民営化の改革機運が高まった2005年後半以降には、株価が上昇する局面も見られました。



(注)データは2012年8月1日~2014年8月5日。  
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

### 今後の展開 景気回復は概ね織り込み済み、今後は改革による資金流入に期待

■2014年通年のGDP成長率が「+7.5%前後」の政府目標を達成することは、概ね織り込み済みと思われる。

■これまで投資の対象だった住宅市場では住宅価格が伸び悩んでおり、投資先を求めた新たな資金が株式市場に流入するかが今後の注目点のひとつです。

■政府は、金融市場を緩和方向に誘導(社債・地方債などの市場も育成)しているほか、インフラ投資も増額する予定です。こうした景気への安心感に加え、株価と企業収益の関係などから見ても、割高感が限定的なことは、好材料です。

■国有企業改革は、業績改善期待にもつながり、株式市場への資金流入要因となりそうです。

#### ここも チェック!

2014年07月24日【デイリー No.1,920】最近の指標から見る中国経済(2014年7月)

2014年06月26日【キーワード No.1,358】中国の景気支援策、5月~6月も積み増し(中国)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。